

ありがとうを 風にのせて



おのであ はるみ 作
おかわだ かよこ 彩色

ありがとうを
風にのせて



おのでら はるみ 作
おかわだ かよこ 彩色

「ありがとう」と ^{つた}伝えたい人が ^{ひと}たくさんいます。
^{つた}伝えきれずにいる人 ^{ひと}もいます。

ある人 ^{ひと}が
その気持ち ^{きもち}は風 ^{かぜ}にのって ^{とど}届きますよ。 と

^{はや}早く ^{とど}届くかもしれないし
^{とど}ゆっくり ^{とど}届くかもしれないし

^{かなら}必ず ^{とど}届きますよ。 と

^{いま}今 おだやかな
やさしい風 ^{かぜ}が吹 ^ふいています。

ねがってみよう。





はるちゃんが さいとき 16歳の時

かあ
お母さんは
なか ちょう し わる
お腹の調子が悪くて
とう
お父さんと
びょういん い
病院へ行った。

はるちゃんと
いもうと
妹の あっちゃんは
る す ばん
お留守番。

ひる でん わ
お昼 電話がきた。

げつ いのち
2ヶ月の命だと・・・

からだ うご
体が動かない。
しっかりしなきゃ。

さい
あっちゃんは 11歳。
「いやだ、いやだ」と
な
泣きじゃくる。



がっこう かえ みち じんしゃ
学校の帰り道に 神社があった。
ひやくと まい おたま う
お百度参りが 頭に浮かんだ。

にゅういん 入院して まもなく お母さんかあの様子ようすがおかしい。

あし 足がふるえる。

こきゅう 呼吸(いき)がみだ乱れる。

あさはや 朝早く 病院から 友達ともだちに電話でんわをかけた。

すぐに五人ごにんの友達ともだちは
びょういん 病院にき来てくれた。

こっそり折おっていた
せんばづる 千羽鶴もを持って・・・

すうじつご 数日後

きせきてき いしき ちど 奇跡的に意識が戻った。

てんてきだい 点滴台につるしている せんばづる 千羽鶴を

ほそて 細い手で

なんど 何度もさわっている。

ごにん 五人の友達 ありがとう。



ためしよみ

は
ここまでです